

シンガポールだより

VOL.34



皆様、こんにちは。小山市よりクレアシンガポール事務所に赴任しております、中田です。早いもので、シンガポールに来てから 1 年が経ちました。この1年間、コロナ前のように実地での事業を行ったり所管国に出張したりといったことはできませんでしたが、それに代わり、頻繁に変わるコロナ規制の調査やシンガポール政府機関とのやり取りをしたり、オンラインツールを活用してシンガポールの様子をライブ中継するという新たな経験・取り組みをすることができました。

また、クレアシンガポール事務所の昨年度の事業の中で、ABC キッキングスタジオと連携して、料理教室を通じて日本の地方の食材の魅力を伝える事業を実施しました。小山市からごぼうの加工品が採用され、その商品を使用した天ぷらうどんとサラダを参加者に調理・試食していただき、小山市産の食材を PR することができました。

レッスンには定員が 120 名のところ 117 名の参加があり、シンガポールにおける日本食の人気の高さがうかがえます。レッスン後のアンケートでは、ほぼすべての参加者が食材について「とても良い」「良い」と回答するなど、非常にご好評をいただきました。

さて、先日シンガポールではコロナに関する大幅な規制緩和が行われ、ワクチン接種を完了していればシンガポール渡航後の検査・隔離無しで入国できるようになりました(渡航前の検査は必要)。また、市内の行動規制も緩和され、5 人までであった人数制限は 10 人まで集まれるようになり、屋外であればマスクの着用が不要となりました。ですが街を歩きながら見ていると、まだ 9 割以上の人は引き続き屋外でもマスクを着用しているようです。

この規制緩和に伴い、令和4年度は、今まで動いていなかった事業が急速に動き出しそうな気配を感じています。4月に入ってから、今後の事業に向けて在シンガポール日本国大使館や、大使館の文化情報発信拠点であるジャパン・クリエイティブ・センター(JCC)を訪問しました。

JCC は、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイが平成 28 年から毎年開催している「Sakura (旧称さくらまつり)」に協力しています。今年の3月4日から4月3日にかけて開催された「Sakura 2022 featuring Tokidoki」では、会場で配布された日本を紹介するパンフレットに非常に多くの方が関心を寄せたとのことでした。

令和 4 年度は、コロナ流行前と同じかどうかはまだわかりませんが、かなり近い活動ができるのではないかと期待しています。引き続き状況を注視しつつ、小山市と連携した取り組みをしていきたいと思えます。



桜の写真を撮る来場者